

2018年8月24日

国民民主党 代表選挙候補者

男女平等参画に関する質問状

国民民主党 女性議員ネットワーク会議
世話人一同

「女性議員ネットワーク会議」は、2002年に「男女共同参画の実現をめざし、女性議員ゼロをなくそう！女性議員をさらに一人プラスしていこう！」「女性議員一人ひとりが福祉や教育、子育てなどのテーマをもって行動し、分権時代にふさわしい地域行動を巻き起こしていこう！」と呼びかけ、設立されました。これまで毎年、総会・研修会を開催し、積極的な取り組みと活動を通じて、党への政策提言につなげてきました、また、意見書の一斉提出など、地方議会においても様々な成果をあげてきました。

国民民主党は、「自由」「共生」「未来への責任」を基本理念に掲げる政党として、真の男女平等社会を実現し、多様性を認め合い、誰もが大切にされる社会づくりをめざす政党であるべきと考えます。今代表選挙に臨まれるにあたり、次期リーダーの考えをお伺いしたく、下記の質問にお答えいただきますよう、お願いいたします。

なお、回答いただいた内容は、女性議員ネットワーク会議のフェイスブックページにて公開する他、党のホームページにも掲載する予定です。よろしく願いいたします。

記

1. 男女平等参画社会の実現について

- ①国民民主党は、他のどの政党よりも男女平等参画の推進に力点をおいて取り組む政党であるべきだと考えるが、どのように考えているか。
- ②男女平等参画社会を実現していくため、国民民主党が、どの政党よりも男女平等参画の党として国民から信頼され、政権を担う政党となる上で、すべての女性が輝き、活躍できる社会づくりに、どのように取り組もうと考えているか。

2. 女性の力を社会の力に

- ①「2030年までに、あらゆる分野における指導的地位に占める女性の割合30%以上をめざす」ことについて、どのように考えているか。
- ②国民民主党の代表となる上で、女性候補者数の目標は何%とするか。
- ③国民民主党の国会議員に占める女性議員の割合を高める上で、クオータ制の導入について、どのように考えているか。また、地方自治体議員を増やす上で、

女性議員の拡充についてはどのように考え、どのように取り組むのか。特に、一般市町村議員についてどう考えるか。

- ④党本部、地方組織も含めた役職における女性の比率について、どのように捉えているか。また今後、女性役員比率を高めていくために、どのように取り組むのか。

3. 党の運営について

国民の付託に応え、「一人ひとりが大切にされる社会」をめざす上で、

- ①地方自治体議員の現場の声、多様な考えや意見を大切に集約し、国政に反映し、国政で取り組んでいることを地方自治体議員と共有するために、どのような組織体制・運営体制が必要だと考えるか。そのために、どのように取り組むのか。また「女性議員ネットワーク会議」へどのような期待があり、存在をどう捉え、政策提言をどう反映していくか。
- ②党本部と都道府県連など各組織との連携も含め、国民に対して「国民民主党としての統一した行動」がとれる内部統制について、どのように考え、どのように取り組むのか。